

山宣の遺志ついで 自民政治の転換を!!

—長野山宣会が総会で活発な論議—

総会であいさつする中澤会長



中澤勸介会長挨拶 今年は山本宣治が亡くなって95年、来年は治安維持法制定100年の節目の年を迎えます。上小農民組合が山宣碑を建立、それを守り抜いてきた長野山宣会は結成50周年を記念して『長野山宣会50年誌』を今日完成させました。今の日本は山宣時代と酷似した軍事大国と戦争する国造りに躍起となっています。山宣の志を継いで、金権腐敗と大軍拡にまみれた岸田政権を転換させる絶好の機会です。この総会を契機に、いろいろな平和・民主団体と力を合わせ頑張りましょう。



長野県版
第518号

2024年4月15日

治安維持法国賠同盟

長野県本部

〒380-8790

長野市県町593

高校会館内

連絡 竹村利幸方

TEL・026-226-0854

FAX・026-266-0864

2万人会員へ 全国大会めざし「会員拡大特別期間」

県本部は早期に過去最高へ600名

国賠同盟中央本部は、4月1日～6月30日までの期間を、第41回全国大会めざす「会員拡大特別期間」に設定。現勢1万6000余人から2万人への拡大をめざします。

長野県本部は、3月末現勢の539人を、過去最高時の556人に回復し、県本部総会の拡大目標の600人をめざします。そのためには各支部が、最低でも1名以上を。

中央本部は、5人拡大・10人拡大者をつのり、5人達成者は「不屈」に発表し表彰状を送ります。さらに10人以上拡大者は「不屈」に発表・表彰し、記念賞品として、DVD「種まく人びと」又は「刑事司法、警察用語辞典」を贈呈いたします。

「不屈」紙面刷新をめざして

国賠同盟長野県本部の機関紙「不屈」が会員に親しまれ、執行部と会員を結ぶ絆、会員同士の連帯、政治や社会の理解と実践等をめざし、編集に努力してきました。

常任理事会では会員や役員の顔や名前がもっと紙面に見え、親しみのある「不屈」にしよう、と相談。これまでの「この人紹介」に加え、2面下段にコラム欄を設け、700字前後で政治・社会、文化・芸術、自然や科学等々自由に書いてもらう欄を設定することになりました。積極的に投稿してください。

宛先・長野市安茂里115014 山口光昭宛
電話&FAX 026-227-7259 e-mail yamaguchi@trust.ocn.ne.jp

LYL運動100周年記念集会のご案内

記念集会実行委員会代表

原 英章



来年は治安維持法制定100周年です。民主主義と人権抑圧の弾圧法規を2度と許さない立場から県下各地で記念の行事等を企画します。LYL「記念集会」もそうした一環と取り組まれます。

LYL運動とは？

今から100年前の1924（大正13）年3月17日に飯田下伊那地方で、羽生三七（はにゆうさんしち）ら青年たち多数が一斉に検挙されました。その2年前の1922年に羽生三七ら5人の青年は、早稲田大学文化会主催の社会問題講座に参加して山川均らから社会主義についての洗礼を受け、帰郷後同志を募って社会主義の研究を始めました。

同年9月この青年たちが中心になって「自由青年連盟」を結成、綱領には「新興階級の歴史的使命の遂行を期す」とし、そのメンバーは300人もいたと言われています。その中核となる指導部を「自由青年連盟」の英訳「リベラル・ヤング・リーグ」の頭文字をとって「LYL（エルワイエル）」と名付けました。

「自由青年連盟」は、機関紙「第一線」を発行して地元の青年たちに社会主義について啓蒙するとともに、当時の政治課題であった普通選挙即時実施や過激運動取締法（以下3ページ上段につづく）



LYLの機関紙第一号

広 場

歳はとっても反骨の思い、まだまだ！

桜満開、周りの木々も芽吹き春爛漫、高齢者にとっては過ぎしやうい陽気となってきた。高齢者といえば、妻は86歳に、私は妻より2歳年下で84歳となる。

ともに、政治革新一筋で65年ほどに。今、地元の老人クラブの会員で、それ会長だ、相談役だと役が付いて回る。会議で司会進行役を任され、発言の趣旨を取り違えお叱りを受けた時に、耳の遠いことを自覚。耳鼻科の医師から加齢性難聴で補聴器が必要だと診断され、わずかな年金から数十万円の補聴器を購入することに。日常生活には欠かせなくなっている。歳を取るとはこういうことなのか。さらに先日、家族の見舞いで、安曇野の病院へ行ったときのこと。大糸線で「一日市場」駅で乗降したのだが、正午というのに高校生などで空席なし。

女子高生二人がすつと立って、「おじさん、おばさんどうぞ」と。私は、自らに指さして「私ら……」と。「はいどうぞ」。人に席譲ったことはしばしばあったが、まさか、こうなるとは思いもよらなかった。うれしい限りで、胸が熱くなる。

八十路の山坂、反骨の気概で一步一步前に進むつもりだ。この頃の新聞、テレビの報道が異常だ。政治の様に恐れおののく。思いもよらない事態が急進行している。戦争の準備だ。事態は重大。じつとしいられない。憲法9条が危ない。心底、怒り心頭だ。女子高生の優しい気遣いと裏腹な、戦争準備に明け暮れる、岸田政権に剛速球で打ち倒したい。（原田誠之）

「コラムのタイトル募集」このコラムは会員に開かれたスペースです。仮りの名称として「広場」としました。会員のみさんから公募いたします。1回目として原田さんに「登場いただきました」。

(後の治安維持法) 案反対などの社会運動を盛んに展開しました。

しかし、このような青年たちの動きに対し、権力を持つ政府や地元の保守層、在郷軍人会などは左翼思想撲滅講演会を開催するなど圧迫を強め、ついに1924年3月の一斉検挙となり、自由青年連盟も解散させられました。「YL」は社会革命を意図する秘密結社である」とされ治安警察法違反だとされたのです。

その後も青年たちは軍事教育を施すための青年訓練所設置の反対運動を展開し、「政治研究会下伊那支部」を結成して社会運動を続けました。しかし間もなく治安維持法(1925年制定)による弾圧が激しくなると青年運動は右傾化し、国家主義・戦争協力へと変化して日本全体が戦争の時代へと突入していきました。こうした飯田下伊那の青年たちの運動を「YL運動と呼んでいます。

「YL」運動100周年記念集会のとりくみ

私たちは、100年前の青年たちが心を燃やして取り組んだ「YL」運動の歴史を学ぶとともに、今日の時点に立つてこの運動を考えようとの願いから「YL」運動100周年記念集会」を開催することにしました。集会の内容は以下の通りです。

- (1) 日時…5月19日(日) 午後1時30分～5時
- (2) 会場…飯田市立中央図書館2階会議室
- (3) 参加費…1000円(資料代含む)
(学生500円、高校生以下無料)

《記念講演》

演題「いま、なぜ「YL」事件を考えるのか？」

講師 大串潤児さん(国立歴史民俗博物館教授・元信州大学教授)

会員研究発表 当時の裁判史料を読み解く

父羽生三七のこと

主催 YL運動100周年記念集会実行委員会

6月2日は県民大集会

岸田内閣退陣

くらし・政治・平和を守ろう

金権腐敗と大軍拡・大増税、国民のくらしを破壊する自公政権を打ち破り、いのちとくらし、平和と人権を守る県民集会を、50名の呼びかけ人と信州市民連合の共催で行ないます。

5月3日は各地域で多彩に

6月2日は松本へ大集合

▼とき 6月2日 午後2時開会

▼ところ 松本駅前広場

▼内容 集会(3野党参加) 市中パレード (雨天決行)

松本自衛隊まつり、オスプレイ飛行訓練するな!!

憲法会議等5団体が知事に申し入れ

憲法会議・護憲連合等5団体は、4月10日、自衛隊まつり(4月20日予定)に知事等県関係者が出席しないこと、オスプレイの低空飛行ならびに国民保護訓練の中止を申し入れました。

自衛隊が米軍の指揮下でアメリカの戦争に加担する軍隊となった現在、国民向けの「まつり」、また、実際の戦争を想定した国民保護訓練は中止すべきだと強力に要請しました。



危機管理部長に要請するメンバー

県内の動き

長野山宣会『50年誌』を刊行

山宣のたたかいと足跡

貴重な資料と真実で綴る

長野山宣会は、山宣没後95年・長野山宣会結成50周年を記念して、『長野山宣会50年誌―「再び戦争と暗黒政治を許すな」の旗を掲げて―』を刊行しました。

県内外の一線の山宣研究者、そして山宣にかかわる活動家・実践家が、その研究成果を論述し、それを裏付ける貴重な資料が潤沢に披露されているところが本書の真髓であり、大きな特徴となっています。

また、今日の政治・社会情勢が、山宣が命をかけてたたかった時代と酷似していることを見るにつけ、本書の出版が、どれほど時代と情勢と時宜にかなったものか計り知れないものがあります。多くの方々が購読されることを心から念願しています。

長野山宣会50年誌

―再び戦争と暗黒政治を許すな―の旗を掲げて

長野山宣会

『写真』「50年誌」の表紙

発刊は、山宣会50年誌編集委員会、定価2000円。付録として山宣、タカラ・テル、斎藤房雄らの碑文の拓本があります。

今年の憲法記念日

各地で多彩、かつ果敢なとりくみが

左記の一覧は、県高教組の調査集約からの転載です。

	日時	場所	おもな内容
飯山	5月3日(金・祝) 13:30~14:30	飯山市公民館101号 スタンディングは中央橋	午後13:30より飯山市公民館でDVD学習「パレスチナ難民問題」(室蘭工業大学教授清水愛砂さん) 14:45よりスタンディング
須坂	5月3日(金・祝) 13:30~15:30	須坂市生涯学習センター (中央地域公民館)	●講演「憲法改憲に勝算はない、政権交代で終止符を！」講師 小林 節さん(慶応大学名誉教授)500円
	5月3日(金・祝) 13:30~15:30	長野市労働会館 5F大会議室	●信州護憲ネット「市民の憲法講座」現在の改憲(壊憲)動向を読み解く」講師:愛敬浩二さん(早稲田大学)予約不要、参加費無料、ZOOM視聴も可能。(ID882/9154/8075 パスコード 555333)
長野	4月28日(日) 13:30~16:00	篠ノ井JAグリーンパレス3F	●講演「武力で戦争は防げない」講師 伊藤千尋さん(元朝日新聞、フリージャーナリスト)。1000円
	5月3日(金・祝) 9:00~午前中 小雨決行	松代象山地下壕 西側イベント広場	「5・3歌って語って踊ろう憲法の日」9:00~イベント広場の整備、里山の手入れ。10:00~交流会 午後は特別見学会。(随時案内)
千曲	5月19日(日) 14:00~16:00	信州の幸あみずホール	「いまこそ平和を!5・19講演会」講演「軍事要塞化する沖縄」講師:石川文洋さん(フォトジャーナリスト)
上田	5月3日(金・祝) 10:00~	上田城址地下公園	集会のあと、市内をパレード予定
東御	5月3日(金・祝) 10:00~	市役所「市民交流広場」	●「平和を希う市民のつどい」市長、議長あいさつ市民の自由発言「平和への思い」
佐久	5月3日(金・祝) 12:30映画 14:10監督トーク 16:00映画2回目	エデュカルトリア佐久教育会館	午前:佐久8地域9条の会スタンディングアピール ●午後:オール佐久集会。ドキュメンタリー映画「ぼくたちは見た」を上映(90分)。古居みずえ(同映画監督)のトーク(60分)
諏訪	5月3日(金・祝) 10:00~映画上映 13:30~お話し会 15:40~朗読 16:50 終了予定	下諏訪総合文化センター小ホール	●午前:映画「はだしのゲンが見たヒロシマ」(77分) 午後:お話し会①(高須海地さん)お話し会②(五味省七さん)朗読「憲法くん」4月27日からロビーでPEACE ART展(下諏訪向陽高美術部、ほうごなつこ作品展ほか) 500円
上伊那	5月3日(金・祝) 12:30 開会	伊那文化会館大ホール	●「日本国憲法は希望へ学ぶこと、生きること、平和な社会・未来へ」講師 白神優理子さん(弁護士)。参加協力券(500円)。終了後サイン会あり。
松本	4月29日(月・祝) 13:00~	松本勤労福祉センター3-3 会議室 オンライン併用	●記念講演「抑止力を乗り越えて平和のために市民社会ができること」講師:隈田佐世さん(新外交イニシアティブ代表)申し込みはチラシのQRコードから。
	5月3日(金・祝) 13:30~	松本花時計公園	2024憲法記念日市民イベント 13:30~ぼこ・あ・ぼこ、狭間由香さんの演奏、野党の連帯発言、市民の自由な発言
安曇	4月27日(土) 8:30集合	安曇野市明科支所集合	戦争遺跡巡り。20名限定。奉安殿、忠魂碑、満蒙開拓に反対した東川出村長の碑など。案内は原明芳さん(豊科郷土博物館長)500円 要予約
	5月3日(金・祝) 13:30~	安曇野市豊科交流センターきぼう	講演「ウクライナの子どもの描いた絵と戦場」講師:神谷さだ子さん(NPO法人チエルノブイリ連帯基金理事長)